



下痢をしたとき

症状の相談や、夜間・休日に受診できる医療機関の案内
ふなばし健康ダイヤル 24 (40ページ参照) ☎ 0120-2784-37

いつもと違うウンチをしたときは、その後のお子さんの様子とウンチをよく観察してください。

水分や食事がとれ、熱もなく機嫌も良ければ、様子を見て通常の診療時間内に受診しましょう。

ただし、症状が大きく変わった場合は医療機関を受診してください。

こんなときは、医療機関を受診しましょう。

☐ 熱が続き、嘔吐を繰り返す。

☐ ひどくお腹を痛がる。

☐ 下痢が1日6回以上ある。

☐ ウンチに血が混じっている。海苔のりのような黒っぽいウンチが出る。（写真を撮って受診の際に医師に見せてください。）

☐ 機嫌が悪く、水分をほとんどとらない。

☐ オシッコの量が極端に少ない。



ワンポイントアドバイス

下痢の回数とウンチの状態をチェックしましょう。

発熱、発疹の有無を見ましょう。

こまめに水分を与えましょう。

脱水にならないように、塩分を含む経口補水液※を少量ずつ頻回に与える必要があります。（与える量の目安はP14参照。）その後も下痢が続く場合には、下痢のつど30～100ml程度与えてください。下痢がある程度落ち着いてから、乳児なら母乳・ミルクを、離乳期以降なら炭水化物（おかゆ、うどんなど）を少量ずつ開始してください。長期の下痢も危険ですし、数時間の間に脱水症状が出現することもあります。



以下は、脱水を生じている場合の症状です。これらの症状が出現していないか十分に注意してください。

- ☐ 唇や舌が乾いている。
- ☐ 顔色が悪い。
- ☐ 皮ふの張りがなく、しわしわしている。
- ☐ 眼球が落ちくぼんで、目がトロンとしている。
- ☐ オシッコの量が少なく、色が濃い。



おしり拭きでなく、おしりの洗浄に心がけましょう。

※経口補水液・乳幼児用イオン飲料水は、薬局やドラッグストアなどで購入できます。